



進取向上

令和6年3月18日発行

広瀬中学校だより 第11号

文責：吉田 茂延

3月12日、49名の生徒たちが中学校から巣立っていきました。私は1年しか学校生活を共に送ることができなかったのですが、廊下であった時のあいさつや集会等で話を聴く姿勢、行事で下級生を引っ張り、全体を盛り上げる姿など、さすが3年生という姿が強く印象に残っています。明るく、あたたかい雰囲気をもった3年生のみんなと一緒にいる空間・時間はたいへん心地よく、できることであればもう少し多くの時間を共有したかったです。

式辞では、変化の激しい時代だからこそ、人との関わりやつながりを大切に また今まで以上に地域との関わりやつながりを大切に生きていってほしいという話をしました。「失敗しても大丈夫」「帰る場所がある」と思えることが、様々なことに挑戦する勇気をくれます。そう感じるができる友達や家族、そしてあたたかい「ふるさと」がここ広瀬にはあります。次のステージで頑張るみんなを、引き続き応援したいと思います。

保護者、地域の皆様には、これまで3年生の生徒たちを支え、応援いただきありがとうございました。これからも彼らの成長する姿を見守り応援いただければと思います。そしてこの1年、広瀬中学生の手本となってくれた3年生の立ち振る舞いを、良き伝統として受け継いでいってくれるであろう後輩達への応援も、引き続きよろしくお祈りします。

卒業生入場



卒業証書授与



校長式辞・来賓祝辞・卒業祝品授与・来賓紹介



今年度の卒業式には、来賓として秦教育長様、平野教育委員様に、また、今年度設置された学校運営協議会の万波会長、平野副会長、村本委員様にもご臨席を賜りました。

町内の各小学校、各交流センターをはじめお世話になった皆様からも多数の祝電をいただいております。ありがとうございました。

在校生送辞

春とは言え、まだ寒い日が続いています。しかし、新しい芽は確かに顔をのぞかせ、春の訪れを告げています。長く厳しかった冬もようやく終わり、新しい季節へ移りゆく中で、先輩方との懐かしい日々が思い出されます。コロナ感染症が5類に移行され、今年度は以前のように、先輩方とたくさん触れ合うことができ、とてもうれしかったです。昼休みの体育館でバスケットボールで本気の勝負をしてくださったことも大切な思い出です。

当たり前のように過ごしてきた日々の中で、何事にも真摯に向き合う先輩方は私たちのお手本であり目標でした。生徒会活動では、素晴らしいアイデアを考え出し合って、たくさんの生徒主体の取組を実行されました。生徒会の引継ぎ会では、「緊張しなくても大丈夫。全校のみんなが協力してくれるよ。」という言葉いただき、さらにやる気がわきました。そして、私たちが先輩方と一番身近に触れ合えたのは部活動です。素晴らしいチームワークと信頼関係を築きあげていらっやったことを私たちは忘れません。私たち後輩に優しい言葉や笑顔で接して下さったり、的確な指示をしてムードを引き締めたりしてくださいました。先輩方が部活動をできる喜びを体いっぱいであらわしていた姿も、これからも私たちが部活動でよき伝統として引き継いでいかなければならないと強く感じています。

全校が一つにまとまり大成功だった体育祭。先輩方の熱意と工夫のおかげで、無事に体育祭をやりきることができ、達成感を味わうことができました。色別練習が始まったころには、なかなかうまくまとまることができず、先輩方を困らせてしまったこともありましたが、しかし、いつでも優しく、後輩一人ひとりに役割を作って盛り上げてくださる先輩方の姿を見て、私たちも責任をもって取り組みたい、先輩方に協力したいと思うようになりました。体育祭当日は、競技でも運営でも、応援合戦でも活躍する先輩方の姿が見られました。色組を超えて、競技者に声援を送る絆の強さや、全校のためにてきぱきと行動される姿は、とても頼もしかったです。

全校が心をつなげた合唱コンクール。先輩方の団結力のすごさを見ることができました。先輩方はどの学年よりも早く練習を始め、各練習場所からは集中して練習に取り組んでいる歌声が聞こえていました。何度も繰り返し練習をされる先輩方の歌声を聞き、私たちも頑張らなくてはと励まされました。本番では、練習よりももっと美しい歌声が会場全体に響き渡り、先輩方の、クラスのために真剣に集中するいきいきとした表情に圧倒されるとともにとても感動しました。「真剣にがんばることはカッコいいこと」だと知ることができた私たちは幸せです。

発想力・絆・熱意・歌声・チームワークという先輩方の「軌跡」を、次は私たちが後輩に伝えていかなければなりません。悩んだり困ったりしている後輩に寄り添っていけるのか、私たちが先輩方から学んできたことをうまく伝えていけるのか、とても不安です。ですが、不安なことや困難なことに立ち向かうことの大切さや、乗り越えた時こそ大きな感動があるということ先輩方の姿から学びました。どうか、卒業した後も私たちを見守ってください。

今日、中学校を巣立っていかれる先輩方の未来が、今までよりもっと素晴らしく、もっと美しくあることを心からお祈りし、お別れの言葉といたします。



卒業生答辞

暖かい陽の光が降り注ぎ、桜の蕾も膨らみ始め、春の訪れを感じる今日、私たちは卒業の日を迎えました。この三年間、部活動や行事、毎日の中学校生活で、私たちは学びの深い、楽しい日々を送ることができました。一年生の春、真新しい制服に身を包み迎えた入学式。初めて会った同級生がたくさんいて、とても緊張していましたが、数え切れない出会いがあり、三年生になった今、多くの友達ができました。

何もかもが初めてだった一年生、私たちはたくさんの関わりの中で、先輩や先生方、家族、地域の方々に支えられていました。月山登山や職場訪問などで、ふるさとのことを知り、未来について考えました。体育祭では、優しい先輩方と一緒に練習も本番も頑張りました。音楽会では、クラスで心をつなげて、今できる自分たちの精一杯を歌い上げました。日々の学校生活の中では、広中ブランドを意識して生活しました。また、生徒会や部活動など、今まで経験したことがなかったことにも取り組みました。何もかもが新鮮で、たくさんの経験をもとに成長した一年間でした。

二年生になるとクラス替えがあり、新しいメンバーとの一年間が始まりました。二年生では先輩となり、毎日の学校生活を下級生の手本としてふるまうように心がけました。そして、二年生の大きなイベントといえば、修学旅行です。みんな、USJ に行ける、と意気込んでいました。しかし、新型コロナウイルスの影響で、行き先は鳥取になりました。けれど、知らない地域の良いところについて知ることができ、集団行動の大切さを学ぶことができました。三学期になると、三年生からバトンを引き継ぎ、新生徒会の活動が始まりました。広中をより良くするためにそれぞれの専門部で協力し合い、助け合いながら頑張りました。大変なことも多かったけれど、その分充実した楽しい一年間を過ごすことができました。

そして、三年生。三年生では、最上級生として広中をまとめる存在となりました。部活動では、これまで練習してきたすべての力を出し切って、全力で戦いました。部活動のメンバーで、たくさん練習して、お互いを高め合うことができました。体育祭では、組長などを三年生が務め、体育祭を盛り上げることができるよう、夏休みからたくさんの準備をしてきました。そのおかげで、最高の体育祭を創り上げることができました。音楽会では、クラスで最優秀賞を取れるように、一生懸命に合唱練習を行いました。私は、みんなで一生懸命に頑張った三年生での一年間が、今までで一番楽しく、思い出に残る一年間となりました。三学期に入り、入試のシーズンが始まりました。面接練習や入試の過去問など、自分たちの進路を実現するために勉強を積み重ねました。緊張したり、不安な気持ちになったりすることもありましたが、なんとか乗り越えることができました。

こうして振り返ってみると、僕たちの三年間は新型コロナウイルスに影響されたことが多くありました。だからこそ、毎日学校に行き先生や友達と共に学校生活を送れたことが、どれだけ幸せなのかを実感することができました。そして私たちが迷ったり困ったりしているときに、生徒のことを考え、寄り添ってくださった先生方に支えられて、毎日安心して過ごすことができました。本当にありがとうございました。

また、私たちが不安を感じ、悩んでいるときに、いつも温かく支えてくれたのは家族でした。時には優しく、時には厳しく見守ってくださりありがとうございました。これからもよろしくお祈りします。

このように私たちの中学校生活は、忘れることのできない数々の思い出に包まれています。この思い出と、今までにお世話になった方々への感謝の気持ちを、卒業生全員で歌いたいと思います（合唱）。

これから私たちは、当たり前を積み重ねていくことが自分たちのよりよい未来を切り拓く礎になることを信じて、それぞれの新しい世界へ進んでいきます。未来はもう、無限じゃないから、今という時間を、これからも大切にしていきたいです。

本当はまだ、ここにいる皆さんと、かけがえない貴重な時間を共有したいですが、いよいよお別れの時が近づきました。最後になりましたが、広瀬中学校のますますの発展と皆様方のご多幸を心よりお祈りして、答辞といたします。



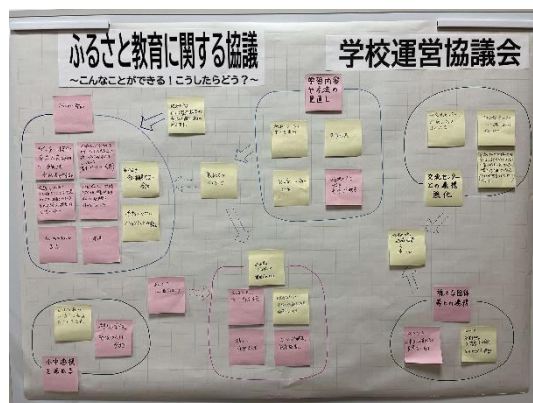
学活・見送り



第1回学校運営協議会



2月27日(火)に第1回の学校運営協議会を開催しました。今年度実施した学校評価について意見を伺うとともに、生徒アンケートにあった「ふるさと学習で取り組んでみたいこと」をもとに、地域側として提案できることなど、ふるさと学習に関わる様々なアイデアを出していただきました。なかにはお土産のプロデュースや特産品の情報発信など、これまであまり考えていなかったアイデアもあり、大変参考になりました。学校運営協議会設置で目指したい「ふるさと教育の充実」に向けて、大変有意義な時間となりました。



合わせて今年度の会長、副会長の選出を行いました。委員の皆さんとともに紹介します。

【令和5年度 学校運営協議会委員】※敬称略

会長：万波 朋広（布部）

副会長：平野 洋一（PTA会長）

委員：太田 真英（教育後援会会長） 田邊 裕子（えーひだカンパニー取締役）

安井 章二（山佐交流センター主事） 岩田 仁志（広瀬地区スポーツ協会会長）

村本 剛（商工会青年部部長）

4月の主な行事予定

1日(月)～7日(日) 学年始休業 8日(月) 着任式、始業式
9日(火) 入学式 10日(水) 生徒会入会式、部活動紹介 11日(木) 身体測定、給食開始
12日(金) 任命式、専門部会、自転車安全教室 15日(月) 新入生テスト
16日(火) 部活動見学、体験入部 17日(水) 学級生徒会 18日(木) 全国学力調査
22日(月)～23日(火) 家庭確認 ※次年度より家庭訪問は実施しません 24日(水) 生徒総会

令和5年度が間もなく修了します。地域の皆様、保護者の皆様には広瀬中学校の教育活動推進にご理解とご支援をいただきありがとうございました。次年度も「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」を意識した活動に努めてまいります。引き続きよろしくお願いいたします。